

若者の働く場をつくる

『かつこいい施設園芸』

の実現

宮崎県西都市市長 橋田和実



SDGsを推進



はじめるまち。
西都市

あなたのはじめるを応援するまちへ。



西都はじめる
PROJECT

あなたのはじめるを応援するまちへ。

西都市の現状



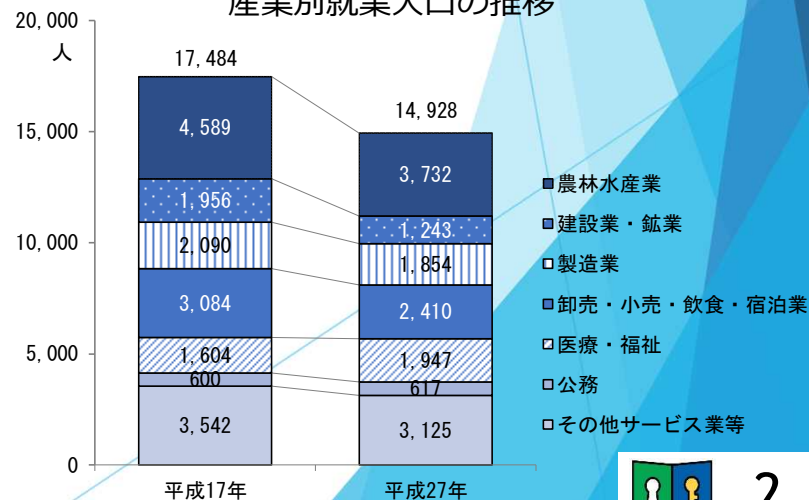
人口：28,719人 （令和2年10月1日現在）

宮崎県中央部の田園都市。市域の7割が森林地帯。特別史跡「西都原古墳群」など多くの史跡や、民俗芸能が多く遺る歴史ロマンあふれるまち。ピーマン、スイートコーン、ニラ、完熟マンゴーなどの園芸作物を中心に、コメや畜産も盛んな営農地域である。

就業人口：14,928人
（平成27年国勢調査）

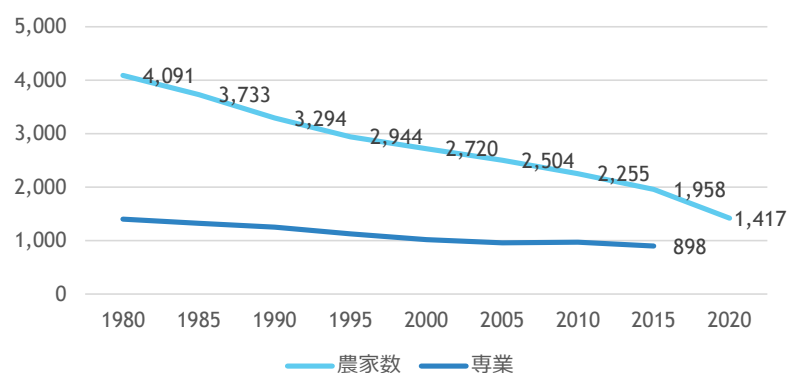
うち農林水産業 **3,732人 25%**
 （男性 26%
 女性 24%）

産業別就業人口の推移

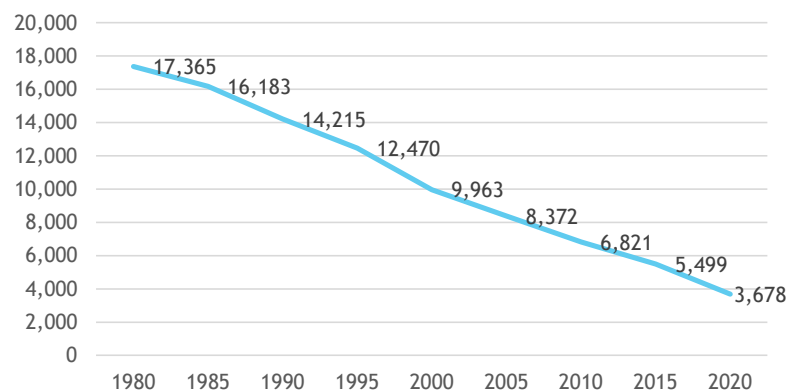


農業のまちが抱える課題

○農家数の推移



○農家人口の推移



高齢化・働く場の不足による人口流出

①農業の担い手（後継者も含む）の不足



産地を支える担い手・農家の減少

②労働力の不足



担い手が不足する労働力分の人を雇えない
生産量の減少 → 産地を維持できない！



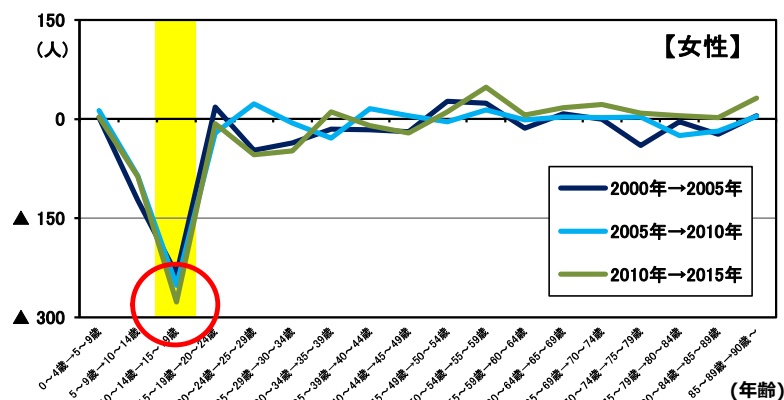
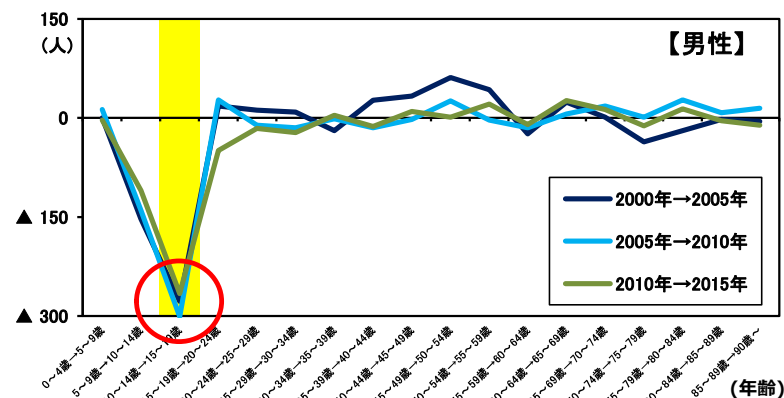
産地として衰退の危機！

**産地の衰退＝西都市のような農業のまちでは
地域の衰退に直結する！**



農業のまちが抱える課題

○性別・年齢別人口移動の推移



男性も女性も共に
10歳～14歳→15歳～19歳になるとき
15歳～19歳→20歳～24歳になるとき

大幅な転出超過となっている。



若者の働きたい場が少ないのが要因



一方、農業の現場では、就農（労）者が少なく
労働力が不足。

つまり

「農業」が就労の場として魅力がない

なぜ・・・農業の雇用に対するマイナスイメージがある
のではないかな。



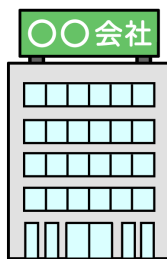
課題の解決にむけて

I 農業の雇用に対する **マイナスイメージ** の払拭

① 農業が持つイメージに・・・

3K（きつい、汚い、危険）
給与が安い。安定しない。

② 企業のエッセンス
を加えることで・・・



企業のもつ
労務管理や雇用管理
のテクニック

雇用イメージ
UP!



③ 就労の場として選ばれる

職業に！

= 働く場の確保

= 就労（農）希望者の増加

働きたい職場になる

安定した給与
決まった労働時間
福利厚生



課題の解決に西都の顔『ピーマン』を活用！

全国に誇るブランド「宮崎ピーマン」

西都市におけるピーマン
全国2位を誇る生産量
ブランド化しており市場評価も高い

★ピーマン栽培の『メリット』

①全国有数の産地であり、ブランドが確立している

安定した出荷・販売先（JA）がある。

②ピーマン栽培の技術が高い

収量も安定しており、**販売先も安定**していることから**収益が見込める**。

JAや普及センターなどの指導機関と連携しており、**重点的に栽培指導ができる**。

③ピーマン栽培に適した土壌（環境、雰囲気）が醸成されている。

長年培ってきた産地として、**周りの農家**もピーマン栽培に対する**理解があり、協力も得やすい**。

2016年度産 冬春ピーマン - 生産量上位の市町村

順位	市町村 (都道府県)	収穫量		作付面積		反収 (t/10a)
		収穫量	全国 順位	作付面積	全国 順位	
1	神栖市(茨城県)	21,400(t)	1位	216(ha)	1位	9.9(t)
2	西都市(宮崎県)	10,400(t)	2位	95(ha)	2位	10.9(t)
3	東串良町(鹿児島県)	5,040(t)	3位	28(ha)	6位	18.0(t)
4	宮崎市(宮崎県)	4,720(t)	4位	45(ha)	4位	10.4(t)
5	土佐市(高知県)	4,120(t)	5位	29(ha)	5位	14.2(t)
6	志布志市(鹿児島県)	3,360(t)	6位	25(ha)	8位	13.4(t)
7	新富町(宮崎県)	3,060(t)	7位	28(ha)	6位	10.9(t)
8	芸西村(高知県)	2,030(t)	8位	13(ha)	11位	15.6(t)
9	鹿屋市(鹿児島県)	1,580(t)	9位	10(ha)	14位	15.8(t)
10	南国市(高知県)	1,550(t)	10位	19(ha)	9位	8.1(t)



課題解決に向けた新たなチャレンジ

《国際的に国の目指す方向》

園芸施設・・・2050年までに化石燃料を使用しない施設への完全移行

(みどりの食料システム戦略が2050年までに目指す姿と取組方法より)

農林水産業からの温室効果ガスの排出状況（2016年度）

- 農林水産業からの温室効果ガスの排出量5,060万トン
- 最大の発生源は燃料燃焼による二酸化炭素（1,700万トン）



農業として何ができるか

農業のまち、施設園芸のまちとしての新たな取り組み



国内トップクラスの生産地としての役割

マッチング企業×園芸 = 施設園芸の今後の新たな可能性にチャレンジする



カーボンニュートラルへの取組



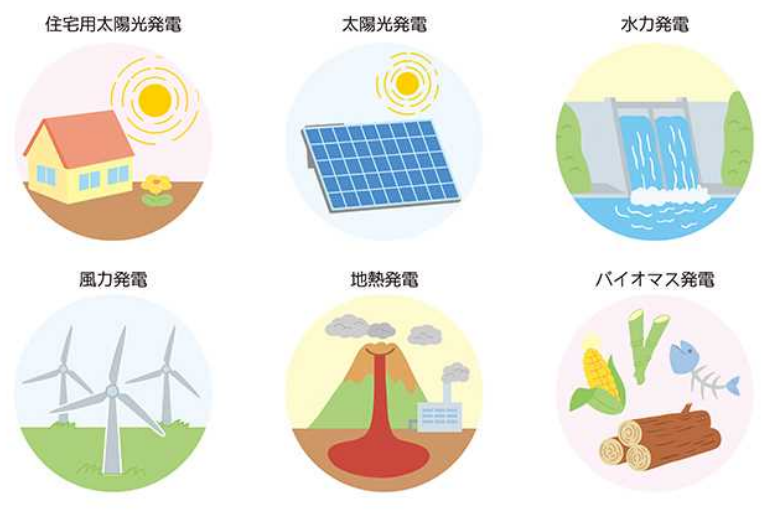
西都市のカーボンニュートラルへの取組

Ⅱ 様々な資源や新たな技術の導入による低コスト化

西都市の顔『ピーマン』



新たな技術（資源）の活用



様々な再生可能エネルギー



西都市のカーボンニュートラルへの取組

例① おひさまを活用したひなたハウス



光



電気

ハウス内の電気設備
換気扇、循環扇、
自動開閉装置 等の電気設備



ヒートポンプ

環境制御



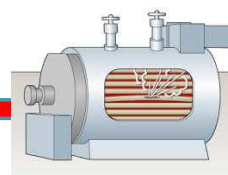
熱



太陽熱ユニット



熱交換



温湯ボイラー

ハウス内の加温

熱

重油使用量の削減

光熱費
炭素排出

産地イメージ
ブランドカ

UP!



西都市のカーボンニュートラルへの取組

例② グリーンPowerハウス

グリーン（森林）で生み出したクリーンエネルギーを活用したグリーン（ピーマン）ハウス



木質チップの燃焼
時にボイラーから
放出される余剰熱

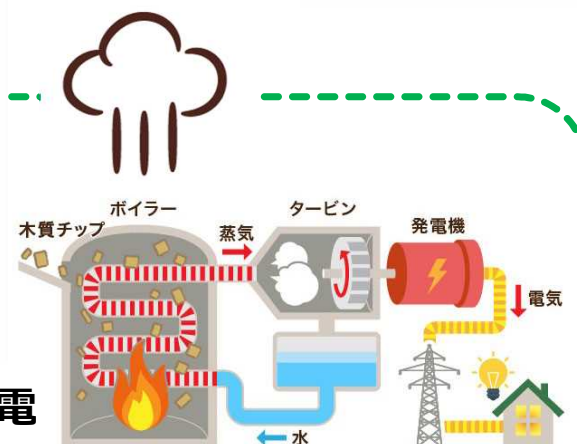


重油使用量
の削減

光熱費
炭素排出



木質バイオマス発電



産地として取り組むことで

産地イメージ
ブランドカ

UP!



西都市が考える連携したい企業像

連携したい企業のイメージ

- (1) 農業に参入し雇用型農業を展開する企業
- (2) 低コスト、再生可能エネルギーなどを活用した農業を実践する企業

●想定する連携の形



- (1) 雇用型農業を展開するとともに、低コスト、再生可能エネルギーなどを活用した農業を実践できる企業
- (2) 農家と連携しながら雇用型農業を展開でき、低コスト、再生可能エネルギーの活用に取り組む企業
- (3) それぞれ個別に取り組む企業
 - ・ 農業に参入し雇用型農業を展開する企業
 - ・ 農業分野への再生可能エネルギー導入に知見があり、活用に取り組む企業



西都市と連携するメリット

提供できる情報・資源・環境

●用地の選定・確保

用地の選定・確保や、農地の取得、賃借などの各種手続きなど、
西都市・農業委員会が全面的に支援



(ハウスのイメージ)



●園芸施設の導入にむけた支援

補助事業の活用に向けた計画書作成など
西都市が全面的にバックアップ
市内のハウス業者との連携や調整も実施



西都市と連携するメリット

提供できる情報・資源・環境



●栽培・販売にむけた協力とサポート

JAや普及センターなどの指導機関との連携

営農に関する様々な情報の提供

安定した販売先（JA）の確保

農家とのマッチング

●市域の約7割を占める豊富な森林資源

間伐材や伐採期を迎えた木材などの未利用資源

森林組合などの関係機関との連携

西都市バイオマス活用推進計画について
策定済み（本年度見直し）



西都市と連携するメリット

企業側の裁量

◆実証で得られたデータ、技術は企業の実績として活用可能 ⇒ 横展開にむけて活用

◆積極的な地域内の女性雇用

⇒ 積極的な雇用による女性の地位向上

◆再生可能エネルギーを含む様々な資源の利用による脱炭素

⇒ 環境保護活動

SDGsにむけた取組の例



CSR（地域への貢献度）やIR（ESGなどの投資の判断情報）に良い影響をもたらし、結果的に企業のイメージアップにつながる。

企業の『イメージアップ戦略』に自由に活用可能



SDGs活動

『カッコいい施設園芸』の実現

I 雇用型農業への転換 × II 環境に配慮した取組 = most ! カッコいい !

農業イメージ
雇用イメージ
UP!



就職（農）希望者の増加



農業があこがれる職業、
選ばれる職業に
レベルアップ！



環境に配慮した農業

再生可能エネルギー

SDGsの取組

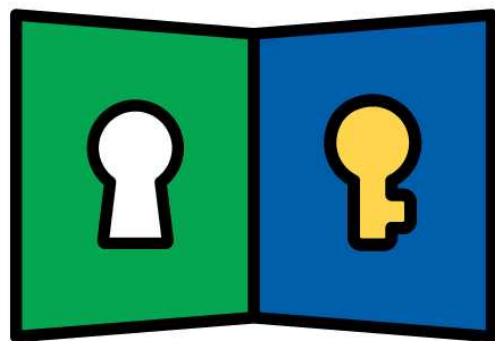


（農業は）
「カッコいい」



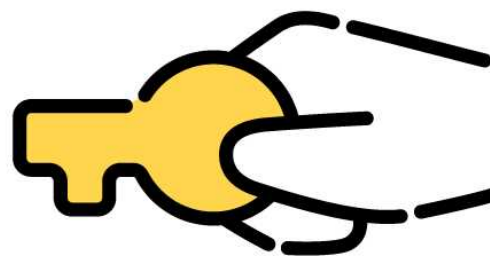
ご静聴ありがとうございました。





はじめるまち。
西都市

あなたのはじめるを応援するまちへ。



西都はじめる
PROJECT

あなたのはじめるを応援するまちへ。